

鉄 竹筋コンクリート製U字溝の設置事業 筋ならぬ竹筋の実用化に向けて

11月26日、標記事業の実証実験として、横町地区に「竹筋コンクリート製U字溝」を設置しました。

竹筋コンクリートとは補強材として鉄筋の代わりに竹を使うもので、二酸化炭素の排出を抑制するなど環境にやさしい技術として研究されています。

当日は竹筋コンクリート協議会を中心に施工協力会社、日大工学部の学生、町、横町地区の住民を含め、総勢約70名が積極的に作業に参加しました。



竹筋コンクリート製U字溝を設置する様子



田島陣屋に設置された木彫りの看板と行灯(右)



11月22日、石造建築物でのイベント

社 官民連携まちなか再生推進事業 社会実証実験やワークショップを実施

標記事業で、未来ビジョン等策定に必要なデータを収集するとともに、まちなかの魅力向上を図るため、社会実証実験を実施。石造建築物および日本家屋の活用を検討するための日本酒や郷土料理を振舞うイベントのほか、木の町をPRするため木彫りの看板を作るワークショップや、行灯の設置などが行われました。収集したデータは今後の検討資料となります。



意見交換後の記念撮影

次 「動く町長室」中学校編 世代の生の声を聴く

12月19日、町長による広聴事業「動く町長室」が南会津中学校にて開催されました。

当日は、生徒会の皆さんの司会により進行されました。生徒の皆さんからいただいた意見には、町の大自然や星空など地域資源の活用やPR方法、身近な生活に根ざした中学生ならではの提言があり、今後の施策にいかされていくこととなります。

南 南会津で第九を歌う4th 会津から響く歓喜の歌

12月3日、御蔵入交流館落成20周年を記念し、標記コンサートが開催されました。ベートーヴェン交響曲第9番は、年末になるとよく耳にする名曲です。10年前に、本町でも第九を中心としたコンサートをしたと、町内合唱団や町に所縁ある音楽家が中心になって始まりました。当日は、100名近い合唱団とソリストの皆さんの力強い歌声、オーケストラの皆さんの豊かな音色がホールいっぱいに響きわたりました。



ソリストの渡部史子さん^{ふみこ}と、堀越俊成さん^{としなり}



ドローンの操作方法の説明を受ける地域の方々

自 ドローンの実証拠点として 自然環境と立地条件をいかして

12月6日、旧檜沢中学校において、低気温や降雪下でドローンの性能を確認する実証拠点とするための見学と説明会が開催されました。

この事業は、福島県が行う最先端の産業を集積して復興につなげる「福島イノベーション・コースト構想」の一環として実施され、今後、企業や研究機関による利活用が期待されます。

豊 明治安田生命「私の地元応援募金」 かなまちづくりを応援

11月28日、明治安田生命保険相互会社郡山支社の和田行生市場統括部長、田村貴也田島営業所長らが来庁され、同社の社会貢献活動「私の地元応援募金」として、より豊かなまちづくりに役立ててほしいと、60万4,500円を寄付されました。

目録を受け取った佐藤副町長は、「子育て支援や高齢者福祉に役立てたい」と述べました。



目録を手渡す田村田島営業所長(左から2番目)

活 渡部カネ子さん百歳を迎える 字に触れ毎日を過ごす

11月23日、めでたく100歳を迎えられた渡部カネ子さん(中荒井)への賀寿贈呈式が、ご自宅で行われました。

日課は、朝新聞を読むことと、日記をつけることで、何年か前からは読書を始めたとのこと。長寿の秘訣は、何があっても前向きに一生懸命働くことだと話すカネ子さん。これからもお元気でお過ごしください。



笑顔で写真撮影に応じるカネ子さん㊦



写真撮影に応じるチヨミさん㊦

喜 長谷川チヨミさん百歳を迎える 喜び親族で分かち合う

11月25日、めでたく100歳を迎えられた長谷川チヨミさん(栗生沢)への賀寿贈呈式が、ご自宅で行われました。

90歳まで商店を経営していたというチヨミさん。事前の誕生会では親族が一同に介し、100歳になった喜びを分かち合った様子でした。これからもお元気でお過ごしください。



お台場で旅の記念に1枚

鉄 会津・野岩鉄道利用促進事業 道に乗って東京探検を満喫!

12月2、3日、町公共交通対策協議会と会津鉄道㈱が企画する鉄道利用促進事業「東京探検の旅」に、7組18名の親子が参加しました。

初日はお台場の東京ジョイポリスで、様々なアトラクションを満喫。2日目は都内屈指の観光名所、浅草エリアを中心に、思い思いの時間を過ごす親子の笑顔がありました。



チームや年齢の枠を超えて清掃活動を

日 びわのかけ運動公園で奉仕作業 頃の感謝を込めて清掃

12月2日、みぞれが降りしきるなか、町スポーツ少年団の主催により、日頃の練習や大会で使用している「びわのかけ運動公園」の清掃活動が行われました。

当日は、田島地域スポーツ少年団や中学校の部活動等9団体、総勢140名が参加。1年間の感謝を込めて、ごみ拾いなどに汗を流しました。今キレイになった運動公園が、今後も子どもたちの成長を見守ります。

息 第15回 太鼓祭2023日本一決定戦 のあった鮮やかな演奏を披露

12月10日、和太鼓演奏の日本一を決める「太鼓2023第15回日本一決定戦」が、さいたま市の大宮ソニックシティ大ホールで開催され、組太鼓ジュニアの部で津田島太鼓「鼓狐」が3位に輝きました。

指導部の渡部麻衣さん(後原)は「それぞれが目標を定め、それを本番で発揮できました。また、次の目標に向けてまい進していきます。」と話します。



鮮やかな演奏を響かせた「鼓狐」の皆さん



左から、室井さん、馬場さん

調 令和5年度最高裁判所長官表彰を受賞 停制度の発展に尽力

12月6日、令和5年度最高裁判所長官表彰を受章されました馬場清紀さん(後原)が受賞報告のために田島調停協会長の室井豊一さん(水無)と来庁されました。

馬場さんは、平成14年から令和4年までの20年間の長きにわたり、田島簡易裁判所において、民事家事調停委員として、地域の紛争解決のために尽力。この度、長年のご功労が認められ、晴れの受賞となりました。

10 なかあらい大地を育む会活動組織記念誌を発刊 周年の記録と誇りを継承する

なかあらい大地を育む会活動組織は、農地・農業用水等の資源や農村環境の保全と、地区の豊かな村づくりに積極的に取り組むことを目的に設立。これまで遊休農地の活用事業や、里山林整備事業、NPO法人や・大学生との連携を通して、地区の活性化に寄与されました。このたび、設立10周年を迎え、その事業と活動を記録した記念誌を作成。郷土の貴重な文献として次世代へ継承されます。なお、記念誌は町図書館にて閲覧できます。



作成報告に訪れた代表の渡部雅俊さん㊦



優勝に輝いた田島バレーボールスポーツ少年団の皆さん

声 第29回県スポ少南会津支部バレーボール大会 だしボールをつなぐ

11月25日、只見町町民町下体育館で標記大会が開催され、郡内から5チームの参加がありました。

冬の寒さが際立つ会場では、選手や監督、応援の声や響き、好プレー好ゲームが生まれました。

- 優勝：田島バレーボールスポーツ少年団
- 準優勝：只見バレーボールクラブ
- 第3位：荒海スポーツ少年団



森で働く人々

株式会社 オグラ
所在地：南会津町岩下 93
設立：昭和 30 年
連絡先：0241-78-5039



Kitone
Instagram
はこちら



Kitone
X(旧Twitter)
はこちら

【問合せ】
農林課 林業振興係 電話 0241-62-6220

命 献血協力団体に対する表彰
をつなぐボランティア

12月5日、南会津地方広域市町村圏組合消防本部が献血協力継続20年以上の金色有功章を受章後、さらに10年以上継続して献血へ協力したことに對し、日本赤十字社より「社長感謝状」が贈呈されました。高橋稔雄消防長は、「大切に続けてきた地域貢献事業への気持ちを忘れず、これからも継続していきたい。」と話しました。



福島県赤十字血液センター会津出張所細野恭宏所長(左)より、感謝状を贈呈を受ける高橋消防長(右)

巧 少年少女球技大会 ドッジボール競技
みな連携でパスをつなぐ

12月8日、町スポーツ推進委員会と町教育委員会の主催による、少年少女球技大会（ドッジボール競技）が田島体育館にて開催されました。田島地域の女子児童が地区単位で編成したチームで優勝を競い、寒さにも負けない熱い試合が展開されました。
優勝：HISAWA女子 準優勝：田島レインボー
第3位：大永チーム



優勝した「HISAWA女子」の皆さん

農 町農業委員会が意見書を提出
業者の声を届ける

12月19日、南会津町農業委員会は役場本庁舎を訪れ、渡部町長に「農地利用の最適化の推進に関する意見書」を手渡しました。この意見書は、担い手の農地利用の集積・集団化や、遊休農地の解消・防止、担い手の育成と新規就農者の支援などについて、委員会の考えをとりまとめたもので、農業者の声を町政へ届けるものです。



意見書を渡部町長へ手渡す委員の方々

相 小・中学校で人権教室を開催
手を思いやる・自分の気持ちを伝える

人権擁護委員の方々とは活動の一環として、各小・中学校にて人権教室を開催しています。教室では、人権とは人が幸せに生きる権利であることを説明しながら、紙芝居を通して、友だちと仲良くするために大切なことなどを伝えています。児童たちは、相手を思いやることや、自分の気持ちを伝えることなどの重要性を学んでいます。



講師を務める川島敬章委員と舟木由紀子委員

**Q 従業員の方へのインタビュー
林業に携わるきっかけは？**
もともとのづくりが好きだったこともあり、紹介してもらったことをきっかけに(株)オグラに入社しました。
Q 普段のお仕事の内容は？
主に木材を加工して、テーブルや住宅の窓枠等を作っています。
Q 心掛けていることは？
木材は同じものがふたつとな



家具製作担当
宮本 拓明 さん

製材から注文家具等の製作・販売、家づくり、木工鋼材の開催まで手掛ける(株)オグラ。代表の小椋さんは「木地師」の家系で、代々の思い・技術を受け継ぎ、自然を破壊することなく木材販売・住宅建築を続けることを大切にしています。「木を活かし、木の良さを伝え続ける」という理念に基づき、人と木が出会うきっかけを作り、豊かな生活環境を提供したいと、地域貢献への思いがあふれます。

Q 大変なことは？
夏場と違い、冬場は仕上げに塗るオイルが乾きにくいいため、納品が遅れてしまうことです。また、木は生き物なので、扱いにくいことが大変です。
Q やりがいは？
出来上がった天板が店頭に並び、お客様に見ていただいているときにやりがいを感じます。自分が手掛けたものを納品する瞬間は特に嬉しく思います。
Q これから挑戦したいことは？
加工を始めてまだ2年目なので、勉強を重ねていきたいです。天板だけでなく脚まですべての工程を自分で手掛けること、ベンチなど他の家具を作ることなども目標にしています。
Q どんな町になってほしい？
木材のお店は高級というイメージがあり、入りづらいという声が多いのが現状です。しかし、一歩お店に入ると「素敵ですね」とい

く、世界にひとつだけの家具になるため、加工にとっても気を遣います。長さや幅など、少し間違えたら同じものは二度と生み出せないため、何度も確認しながら、そして、購入してくれる方を思いながら作業しています。
Q 大変なことは？
夏場と違い、冬場は仕上げに塗るオイルが乾きにくいいため、納品が遅れてしまうことです。また、木は生き物なので、扱いにくいことが大変です。
Q やりがいは？
出来上がった天板が店頭に並び、お客様に見ていただいているときにやりがいを感じます。自分が手掛けたものを納品する瞬間は特に嬉しく思います。
Q これから挑戦したいことは？
加工を始めてまだ2年目なので、勉強を重ねていきたいです。天板だけでなく脚まですべての工程を自分で手掛けること、ベンチなど他の家具を作ることなども目標にしています。
Q どんな町になってほしい？
木材のお店は高級というイメージがあり、入りづらいという声が多いのが現状です。しかし、一歩お店に入ると「素敵ですね」とい

KITONE NEWS

1月27日 一十八日森の香りワークショップ

時間 午前10時～正午 参加費 無料

問合せ (株)一十八日 電話 050-1807-3591

南会津の森から生まれた香りを使って、パレンティンにぴったりのアロマプレーをつくります。お子さまから大人まで誰でも楽しめるワークショップです。(所要時間：20分程度)



う言葉をたくさんかけていただいているので、天板がどこにでも目に付くような、木材を身近に感じられる町になってほしいと思います。また、木目調のプリントではわからない木の良さ、あたたかさ、やさしさなどを、実際に見て、触ってもらいたいです。